

広報

No. 226

くま

平成4年4月15日

発行・編集 国見町総務課

おもな内容

平成4年度スタート	2～3
グラフで見る平成4年度予算	4～5
名称は「国見町観月台文化センター」	6
菊地昭平さんら11名が勇退	7
人事異動	8
町職員組織表	9
おしらせ	10～11
公民館だより	12～13
わだい	14



希望を胸に
きょうから1年生

'92
4月

町内の小中学校の入学式は4月6日、各学校で行われ、328人の新一年生が誕生しました。

ことし希望に胸を膨らませて入学した小学生は140人(小坂小17人、藤田小70人、森江野小32人、大木戸小16人、大枝小5人)、中学生は188人です。

森江野小学校(伊勢文朗校長)では、2月に完成したばかりの真新しい校舎で入学式が行われ、新入生たちが担任の先生に引率されて元気いっばいに入場。これから始まる楽しい学校生活に胸をはずませていました。



平成四年度スタート

●豊かで 住みよい 活力あふれる ふるさとづくり
●心の豊かさを持った 人間尊重の町づくり

三月十一日から十七日までの日程で、平成四年第一回国見町議会定例会が開かれました。冒頭、富永町長より新年度にあたっての所信表明と提出議案の説明があり、七日間の会期に亘り慎重に審議された結果、全議案が原案どおり可決されました。

町政はこの四月から新年度に入り、豊かで住みよい、活力あふれるふるさとづくりを、目指した数々の事業が実施されます。今月号では、平成四年度にはどのような町づくりが進められるのかをお知らせします。

提案理由の要旨

平成四年度の国の予算は、人口の高齢化や国際社会における我が国の責任の増大など、今後の社会経済情勢の変化に財政が弾力的に対応していくため、歳出の見直しと合理的な配分等を基本方針に編成されています。

その結果、一般会計予算規模は七十二兆二千八百十億円、対前年度比二・六％の伸びとなっており、国債費等を差し引いた一般歳出は三十八兆六千九百八十八億円、四・五％の増となり、政府経済見通しの名目成長率五・〇％より低い抑制型の予算となっています。

また、地方財政運営の指針ともいうべき地方財政計画でも、国と同一基調のもとに経常経費については極力抑制されるなど、行政の簡素効率化を推進しています。地域特色を活かした地域づくりと住民生活の質の向上のための社会資本の整備、福祉の充実を推進するために必要な事業費を確保するなど、節度ある財政運営を行い、それに基づいて策定された地方財政計画の歳入歳出規模は七十四兆三千六百五十一億円で、前年度に比較して四・九％の増となっています。

このような状況のもと、国見町では地方財政計画のほか、国・県の予算編成方針、経済の見通し、第二次町振興計画を踏まえ、町民生活の充実と福祉の向上を目指し、行政サービスの向上、人口の定住化と活力ある町づくりのため、積極的に各種施策推進に取り組んで参りました。

平成四年度においても、豊かで住みよい活力あふれる国見町の実現と心豊かな人間尊重の町づくりを目指し、長期的視野に立ち、町政発展の基礎をなす事業の選択については重点選別主義により対処し、より一層の町政発展と町民生活の向上を図ることを基本に、財源の重点的かつ効率的配分に努め、予算の編成を行いました。その結果、歳入歳出予算総額はそれぞれ四十九億一千万円となり、対前年度比十四・五％の伸びとなっています。

歳入

自主財源の大宗を占める町税については町民税、固定資産税を中心に七億五千六百二十万円、対前年度比六・七％の伸びとなっています。

地方交付税は、森江野小学校

体育館改築による事業費補正、地域総合整備資金貸付事業費、地域づくり推進事業費、地福祉基金、土地開発基金等が引き続き算入される見込みであり、交付額は地方財政計画の伸び率を上回る対前年度比九・〇％の増、十七億七千万円を計上しています。

歳出

国庫支出金は、公営住宅建設事業補助金等の増で一億九千二百万円。町債は、継続事業として進めています。国見町観月公園文化センターをはじめ、森江野小学校体育館、公営住宅建設事業債等で十億三千九百四十万円を計上しています。

また、基金繰り入れは観月公園園文化センター建設事業費にふるさと振興基金から三億八千三百二十九万円、森江野小学校体育館改築事業に文教施設整備基金から一億二千九百万円を充当し、財政調整基金から五千万円の繰り入れをしています。

この結果、町税など一般財源は二十七億四千五百四十六万九千円となり、歳入全体に占める

比率は五十五・九％となっています。

歳出では、町の重点事業として進めています。観月公園文化センター建設事業費十二億七千八百九十九万円をはじめ、森江野小学校体育館改築事業費二億三千九百八十五万円、公営住宅建設事業費二億二千三百三十六万円、大枝中央集会所建設事業費五千九百四十万円を計上しました。

町道、農林道整備事業を中心とした生活関連の投資的経費は、対前年度比二十四・七％増の二十三億六千四百五十五万円を計上。そのほか、情報化、国際化、高齢化の進行など社会経済情勢の変化に対応する諸施策推進には、それぞれ所要の経費を計上しています。

開進に迫る二十一世紀を目指し、豊かで住みよい活力あふれるふるさとづくり、心の豊かさを持った人間尊重の町づくりを町政運営の目標に、各施策の推進を図って参ります。

平成4年度 重点施策

活力のある町づくり

第一は「活力のある町づくり」の推進に努めます。
本年度は、二十一世紀を創造した活力のある国見町を創造する第三次町振興計画を策定します。



▲21世紀を担う子どもたち（藤田幼入園式・4月8日）

ります産業の振興については、引き続き工業団地の整備を進め、優良企業の誘致に取り組みます。既に企業の育成についても工場等設置奨励金の育成についても商工会の育成、中小企業育成預託事業、商工振興会議等に要する経費を計上しています。
農林業の振興については、水田農業確立対策事業をはじめ、農林道の整備、県営事業として中山原樹園地帯農道網の整備と親月台ため池の農業水利施設高度利用事業、石母田地区農道整備事業を進めます。
また、町農業生産基盤の整備と農村の生活環境整備を図るために、農村総合整備計画を策定いたします。さらに、農業振興会議、農業後継者の育成についても積極的に対応を図ります。

快適に住みよい町づくり

第二に「快適に住みよい町づくり」の推進に努めます。
生活幹線町道の整備を重点に、河川改良都市計画事業、公共下水道事業の促進、人口の定住化を図るためにふさとマイホーム住宅団地開発の調査を進めるとともに、雇用促進住宅六十戸の誘致と公営住宅を建設し、勤労者の住宅確保を図ります。
水資源の確保、消防防災体制

の充実、交通安全対策、こみ処の充実など快適に住みよい町づくりを進めます。

福祉と健康の町づくり

第三に「子供からお年寄りまで健康で安心して暮らせる、福祉と健康の町づくり」を進めます。
幸せの基本は健康であり、健康づくり推進のため健康診査事業の充実と婦人の健康づくり事業、健康フェア、ウォーキング大会の開催、母子健康推進事業及び健康診査体制の充実を図ります。また、在宅訪問看護診察事業と新規事業で、高齢者生きがい健康づくり推進事業を進めます。

福祉対策としては、在宅老人短期保護事業の拡充をはじめ、高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉のための施策を積極的に推進するとともに、高齢者福祉対策の基本となる「老人保健福祉計画」の策定を進めます。
社会福祉法人国見町社会福祉協議会の充実を図るとともに、季節保育所、家庭奉仕員派遣事業、寝たきり老人入浴事業などを進めます。

また、長寿社会に備え「ふれあい福祉基金」の積み増しをし、総合的な福祉対策を推進します。

将来の国見町を担う人材育成

第四は「将来の国見町を担う人材育成」の推進に努めます。
国際化社会の進展と高齢化社会への対応は、二十一世紀に活躍の中心となる現在の青少年の力に負うものが大きく、その担い手として国際的な視野に立ち自ら考え、創造し、行動する若者を育成し、定着させていくことが重要であります。

学校教育については、本年は森江野小学校体育館の改築事業を進め、教育環境の整備に努めます。
生涯教育についても、公民館活動を中心に青少年から婦人、高齢者まで、自ら学び自ら行う精神の育成をねらい、その推進を図ります。

町民の総意に基づき、昨年着工した親月台公園文化センターは文化、福祉の拠点としてその活用が期待されており、平成五年度完成に向け、本年度の最重要事業として進めて参ります。
高齢化、地域活性化モデル事業として大枝中央集会所の整備を行い、地域の集会、研修、コミュニティの促進を図ります。
スポーツの振興は健康づくり、人づくりの重要な要素であり、

上野台内に多目的運動広場を建設するため、調査費など必要の経費を計上しました。また、スポーツ振興会、スポーツ少年団の育成を図ります。

文化振興については、文化財の保存、文化振興基金の充実、文化団体活動の助成をします。

また、中学生の英語指導と国際交流を図るために、本年度も外国青年招致事業を推進して参ります。

町民総参加の町政推進

第五は「町民総参加の町政」を推進します。
町民のかたがたのご意見を町政に反映させるため広報広聴活動の充実を図り、地区別に町政懇談会を開催し、広く町民の皆様の声をお聴きし、町政に反映して参ります。

行財政体制を充実

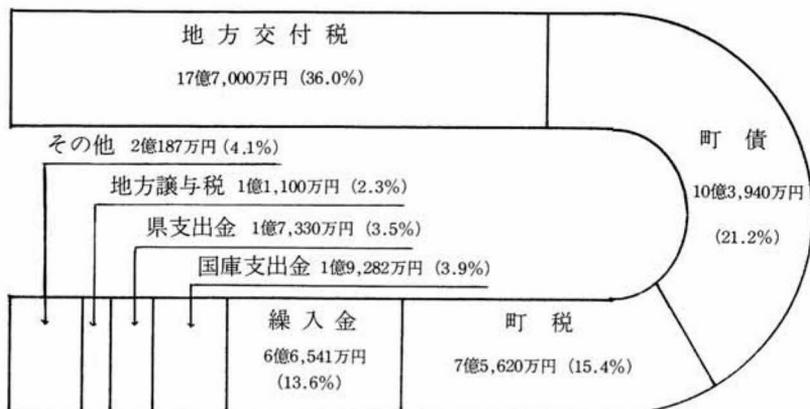
第六は「行財政体制の充実」を図ります。
行政組織機構の見直しを行い、事務事業の効率的な執行と町民サービスの向上に努めます。

また、町政運営の根幹をなす財政については、長期的展望に立ち、計画性に基づき安定した財政の確立に努めます。

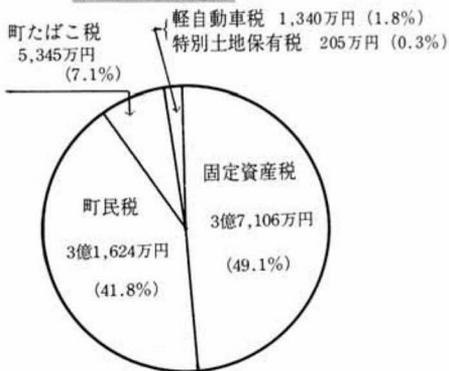
平成4年度予算

歳 入

四十九億一千万円



町税の内訳



予算は、住みよい町づくりを進めるうえでとても大切なものです。

町民の皆さんが納める税金はいくらか、その税金はどのように使われているのか、そのあらしをグラフで見てください。町民の皆さんの家計に密接なつながりをもつ12,000人町民の家計簿です。

平成4年度の一般会計予算は、49億1,000万円、特別会計予算は22億593万円になっています。このうち一般会計分について平成3年度と比較してみますと、6億2,200万円 (14.5%) の伸びとなっています。

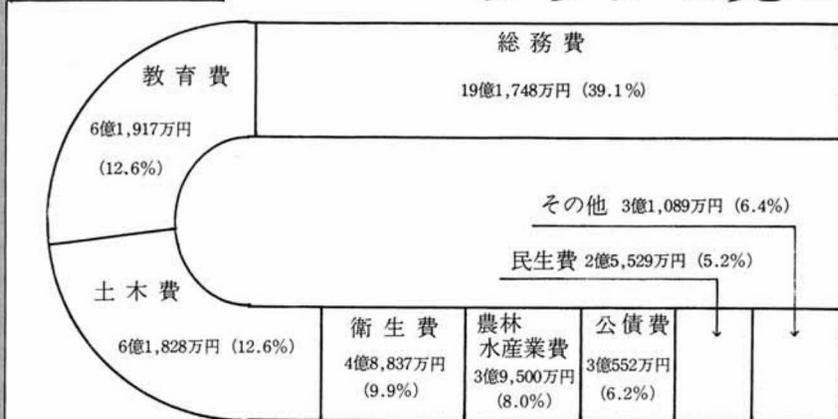
<p>町たばこ税</p> <p>4,498円</p>	<p>町民税</p> <p>26,611円</p>	<p>固定資産税</p> <p>31,223円</p>	<p>1人あたりでは</p> <p>入ってくるお金や使われるお金を、町民一人当たりで割ってみるとどうなるでしょう。</p> <p>(一般会計の場合)</p> <p>※人口は、平成4年1月1日現在=11,884人</p>
<p>町債</p> <p>87,462円</p>	<p>地方交付税</p> <p>148,940円</p>	<p>軽自動車税</p> <p>1,128円</p>	

歳 入

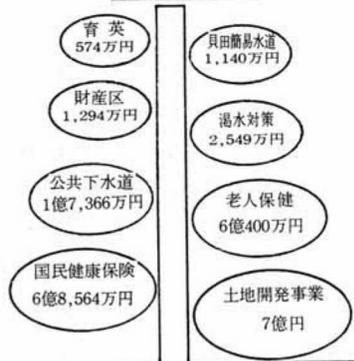
歳 出

グラフで見る

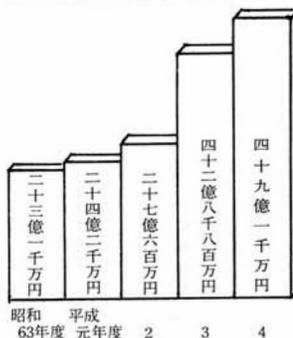
四十九億一千万円



特別会計



一般会計当初予算の推移



<p>衛生費</p> <p>41,095円</p>	<p>土木費</p> <p>52,026円</p>	<p>教育費</p> <p>52,101円</p>	<p>総務費</p> <p>161,350円</p>	歳 出
<p>消防費</p> <p>13,092円</p>	<p>民生費</p> <p>21,482円</p>	<p>公債費</p> <p>25,709円</p>	<p>農林水産業費</p> <p>33,238円</p>	



▲賞状と記念品を受ける入選者の皆さん

「ふるさと創生事業」として
観月台公園内に建設を進めている、文化と福祉の複合施設の正式名称選定表彰式が三月三十一日、役場会議室で開かれ、正式名称は「国見町観月台文化センター」に決まりました。

昨年十月十五日から一か月間行われた名称募集には、二百二十七人の皆さんから三百四十件

正式名称

「国見町観月台文化センター」

決まる

の名称提案をいただき、町ふるさと創生事業懇談会や名称選定委員会が慎重な審査を行い、優秀作品一点と、佳作四点を選びました。

表彰式では富永武夫町長と佐藤利雄町ふるさと創生事業懇談会長があいさつしたあと、富永町長が入選者一人ひとりに賞状と記念品を贈りました。

名称提案いただきました皆さん、ありがとうございました。

入選者は次の通りです。

(敬称略)

- ◇優秀作品
▽観月台文化センター
阿部弘美(大木戸) 松浦守(大木戸) 小野徳郎(大木戸)
- ◇佳作
▽観月台カルチャーセンター
半澤修平(大木戸) 高橋優希(貝田)
- ▽観月台ふれあいセンター
八巻義行(高城) 阿部弘美(大木戸)
- ▽国見カルチャーセンター
斎藤久男(福島市)
- ▽国見町文化センター
小野徳郎(大木戸) 松田香奈子(貝田) 吉田百合子(貝田) 古川孝雄(宮東) 佐久間宗平(第一) 新村国夫(内容東)
- ◇団体表彰
大木戸小学校、県北中学校



▲福祉事業に活躍が期待される福祉バス

この福祉バスは、アイボリーの車体にブルーのラインが入り、乗り心地の良い三十七人乗りの中型バスで、県共同募金会を通じて、中央競馬社会福祉財団からの助成と町からの補助を受け、町社会福祉協議会が購入したものです。

かねてより待ち望まれていた「福祉バス」が三月十九日、町社会福祉協議会に納車されました。

福祉事業に 活躍が期待される

福祉バス

のです。

今後、この福祉バスの利用・運行につきましては、町内の福

雇用促進住宅の設置内定

祉団体の福祉活動や行政機関の業務などに、幅広い有効利用が期待されます。

町はかねてより労働福祉政策の一環として、雇用促進事業団が設置運営する雇用促進住宅の設置を関係機関にお願いしておりましたが、この度、福島県知事より町へその設置内定通知書の伝達がありました。

この雇用促進住宅は、JA福島国見町農協本所の南側、大字藤田字藤田二地内、約一一、〇〇〇平方メートルの土地に雇用促進事業団が鉄筋コンクリート造り地上五階建一棟三十戸(各3DK)の建物を二棟建設するもので、敷地内にはその他附帯施設として

完成後は、町内企業で働く皆さんを始め近隣町の勤労者の方々も入居されることにより人口定住化、流入化が図られることにより商店街の活性化など多数の相乗効果も期待されます。



▲加藤県雇用保険課長から
富永町長へ内定書が手渡される



▲雇用促進住宅(モデルハウス)



▲ 消防団辞令交付式

菊地さんら11名が勇退

消防団辞令交付式

町消防団の辞令交付式は四月二日、役場会議室で行われまし
た。

今回は、三十年以上の消防団員歴を有する菊地昭平第二分団長をはじめ十一名の方が勇退されました。

菊地分団長をはじめ長い間、消防活動に尽力されました皆さん、本当にありがとうございました。

勇退された皆さん(敬称略)

- 菊地 昭平 村上 一
- 佐藤 洋一 鈴木 薫
- 菊地 俊雄 熊坂 一正
- 八巻 英男 斎藤 新作
- 鈴木 陽市 遠藤 邦雄
- 長谷川 敬明

愛の献血に61人が協力

三月十六日、献血バスが来町し、国見町農協大枝支所前など五ヶ所で献血活動を行い、61人の方々(申し込み者は66人)にご協力をいただきました。

献血ありがとうございました

(順不同・敬称略)

- ◎印は成分献血協力者です。
- ◎印は四〇〇cc協力者です。
- (一般)
- 松浦 幹男 佐藤 直子
- 菊地 孝一 ◎斎藤 規雄
- 斎藤 福子 伊藤 文子
- ◎高野 正喜 伊東 芳子
- 古川 桂子 高橋 勝美
- 菊地 芳昇 斎藤 紀子
- ◎阿曾 信一 新井 順子
- ◎内村美奈子 内村 有子
- 栗原 幸恵 高橋 秋子
- 高橋 力 大内サカヨ
- 大塚 信子 佐伯 義昭
- 犬伏 房子 堀江 高雄
- 斎藤セツ子

(JA福島国見町)

- 松浦新一郎 熊坂 千エ
- 佐藤 長一 佐藤 俊子
- (仙台ストッキング(韓国見工場)
- 佐藤 邦子 渡部 良子
- 近江タマノ 松浦 ハル
- 大内 幸子 木村 ナオ

- 村山 公子 市山カウエ
- (福島消費組合コープマーケット国見)
- 半沢 京子 高橋 紀子
- 佐藤 玲子 阿部 民子
- ◎半沢ササ子 ◎本間 都
- (福島信用金庫国見支店)
- 三浦 英徳 阿部 正信
- 八巻 栄作 ◎阿部 孝一
- 五十石新一
- (公立藤田総合病院)
- ◎小林 幸夫
- (国見町商工会)
- ◎佐久間正男 斎藤恵美子
- 吉田 トエ ◎鈴木 正春
- 秦 清一 斎藤 幸一
- (国見町役場)
- ◎武田 智 ◎菅野 信朗
- 菊地 弘美 ◎吉田 義勝
- 佐藤 克成

お世話になります

新町内会長さん決まる

町民の皆さんと行政のパイプ役を務め、町の行政の大切なお手伝いをお願いする平成四年度の町内会長さんが決まりました。新しい町内会長さんには、四月十日に開かれた町内会長連絡協議会総会の席上、富永町長から委嘱状が手渡され、向こう一年間のお世話をいただくことになりました。よろしくお願いたします。

平成4年度 国見町町内会長

(敬称略)

町内会名	氏名	町内会名	氏名	町内会名	氏名
町内会	菅野正二	山崎宮館	三瓶茂	第3	佐藤昌名
駅前	阿部文夫	山崎沢田	黒田稔	第4	石川博義
錦町	渡辺勝助	宮前	川井次春	徳江北	太田久三
大町	小西富馨	源山山東	源山水	第7	田巻上公
大町	樋口馨	源山山西	斎藤政之	第8	八村正
本町	東海林幸郎	源山山北	佐藤幸藏	第9	蓬田地助
宮町	阿部重太	大坂	高橋米造	第10	菊地地善
宮町	斎藤重太	山崎耕谷	八島建七	第11	大地内安次
宮町	栗原光雄	小坂	佐藤元一	第12	大内橋次平
鶴町	野野勝美	太田川	佐藤忠雄	貝田	田高沢太一
上野	浅谷貞美	前田	朽木勝夫	光明寺	明寺八郎
石母田東	高野恭寿	板橋	関本東一	高城	高城八郎
石母田表	佐藤貞夫	泉田上	関口正一	大木	大木恒夫
石母田北	佐々木義助	泉田中	佐藤喜明	山根	山根正晴
石母田原	菊地地助	泉田下	阿部榮作	原町	谷佐津榮
石母田西	佐藤一雄	鳥取	本田清吉	築館	鈴木清三
山崎北	高橋久藏	内谷西	片平達男	並柳	並柳瀬三
滝山	吉田稔	内谷東	熊坂正一	中部	佐瀬戸部
山崎館	安藤政治	第1	佐久間義一	北部	佐藤喜久雄
山崎小館	中村一郎	第2	佐久間幸	川内	佐藤光康

町職員の仕事異動

広報広聴・交通安全対策・街路灯管理は総務課で

町職員の人事異動が四月一日付で発令されました。

今回は、行政機構の見直しに伴って人事異動が行われ、農林課内に農村整備計画班が新設され、企画商工課の広報広聴係の廃止に伴い、広報広聴事務は総務課文書広報係、統計事務は企画商工課商工振興係、また、交通安全対策・街路灯管理業務につきましては、総務課庶務係が担当いたします。

夫、▽公民館主任兼事業係長（公民館主任兼事業係長）高橋正夫、▽保健課長補佐兼国保係長（公民館主任兼兼体育係長）古比司、▽農林課主任兼農村整備計画班長（農林課主任兼農林土木係長）菊地孝吉、▽企画商工課長補佐兼商工振興係長（企画商工課主任兼兼農村整備係長）吉田貞男、▽総務課長補佐兼庶務係長（総務課主任兼庶務係長）佐藤則雄、▽住民福祉課長補佐兼福祉係長（住民福祉課主任兼兼福祉係長）小野智義、▽建設課長補佐兼建設係長（建設課主任兼兼建設係長）後藤澄雄、▽公民館長補佐兼体育係長（税務課主任兼兼固定資産係長）小池芳男、▽農林課主任兼兼農林土木係長（保健課主任兼兼国保係長）八巻忠義、▽税務課主任兼兼固定資産係長（企画商工課主任兼兼広報広聴係長）奥山隆夫、▽会計室主任兼兼（議事事務局主任兼兼）谷津美代子、▽藤田幼稚園専門教諭（森江幼稚園専門教諭）田中陽子、▽企画商工課商工振興係（税務課課課係）八巻秋夫

▽総務課文書広報係（企画商工課広報広聴係）小西春彦、▽議事事務局（会計室）菊地富子、▽農林課農村整備計画班（企画商工課国土調査係）蓬田英右、▽森江幼稚園（藤田幼稚園）斎藤アイ子、▽藤田保育所（藤田幼稚園）吉田和子、▽藤田保育所（藤田幼稚園）倉田由美子、▽公民館事業係（税務課課課係）佐久間茂、▽税務課課課係（公民館事業係）佐藤光男、▽農林課農村整備計画班（農業委員会事務局）羽根浩一、▽藤田幼稚園（藤田保育所）阿部正子

教職員の仕事異動

（内は旧任）

▽浅野菜（小坂小校長）
▽小野徳郎（大木戸小校長）
▽菅原弘（東北中学校）
▽遠藤常雄（藤田小教頭）
▽市川多門（藤田小）
▽池田君子（藤田小）
▽佐藤牧衛（森江野小）
▽石川久美子（藤田小）
▽鈴木英雄（森江野小）
▽長谷部のぞみ（東北中）

▽転出
▽梁川町立梁川小校長（森江野小校長）川上重明、▽保原町立保原小（小坂小）渡辺八千代

▽福大附属養護学校（藤田小）大竹秀男、▽福大大学院（藤田小）上田和雄、▽西会津町立尾野小（藤田小）長谷川潤子、▽梁川町立山舟生小（大木戸小）吉田清美、▽会津若松市立双湯小（大木戸小）鈴木淳、▽梁川町立梁川中（東北中）菅野幸夫、▽葦山町立葦山中（東北中）坂田篤彦、▽保原町立桃陵中（東北中）蓬田ひろ子、▽岩代町立田沢小（町教育委員会）大槻蔵入

▽小坂小校長（県教育庁文化課）渡部正俊、▽森江野小校長（梁川町立富野小）伊勢文朗、▽大木戸小校長（月館町立月館小）久米光男、▽東北中学校（県教育庁東北教育事務所）斎藤一哉、▽藤田小教頭（梁川町立山舟生小）佐藤洋一、▽小坂小（福島市立大波小）斎藤千鶴子、▽藤



▲教職員着任式（4月3日）

大平駐在所に 大平巡査部長が着任



大平巡査部長

桑折警察署大木戸駐在所に、三月三十一日付で大平健太郎巡査部長が着任しました。大平巡査部長は保原警察署からの転任で、大木戸地区・西大枝地区・川内地区を担当しますので、地区の皆さんよろしくお願ひします。

国見町職員組織表

町長 富永武夫		助役 八島忠雄		収入役 大内正美		教育長 蓬田英夫	
課名	課長	主幹及補佐	係名	係長	係		
総務課	大波 健	佐藤 則雄	庶務	佐藤 則雄	松田きよ江 菊地弘美 大津香織 渡辺和己		
			財政文書	吉田 俊江 吾妻 正子	松浦英夫 齋藤隆義 菅野信朗 小西春彦		
税務課	山田 久	佐藤 春夫	賦課徴収	吉田 吉夫 奥山 隆夫 渡辺 アヤ子	武田友江 佐藤光男 武田京子 尖戸浩寿 飯沼 正		
保健課	松浦 幸雄	古川 比司	保健衛生	武田 幹夫 古川 比司	佐藤和夫 中野成子	菅原文子 蓬田恭子	
住民福祉課	高橋 弘信	佐藤 幸子 小野 智義	住民福祉	松浦 京子 小野 智義 佐藤 幸子	安藤幸江 武田正裕 中田利枝	後藤浩子 黒沢敦子 東海林八重子 齋藤由起子	
保育所	所長 天野 英子			木口 絹子	後藤加代子 吉田和子	吉田邦子 倉田由美子 渋谷啓子	
農林課	佐野 貞治	菊地 孝吉	農林振興	佐藤 政弘 八巻 忠義 菊地 孝吉	武田慶子 後藤登美子 蓬田英右	引地由則 渋谷康弘 佐野龍一 村上健一 佐野 功 羽根洋一	
農業委員会事務局	局長 井砂 研二			佐藤 光一			
建設課	鈴木 捷治	後藤 澄雄	建設管理	後藤 澄雄 渋谷 和洋 安田 博三	吉田恵子 松浦昭一 吉田義勝	佐久間正 阿部正一 村上幸平	
企画商工課	佐竹 弘治	吉田 貞男	企画調整	八島 英雄 吉田 貞男 中野 孝雄	佐藤 孝 八巻秋夫 谷津富夫	佐藤克成 佐藤弘利 羽根田孝司 齋藤忠一	
下水道課	須田 善治		下水道	阿部 正	遠藤喜正 鈴木哲也 (研修派遣)		
会計室			出納	武田 智	谷津美代子		
議事事務局	局長 吉田 孝夫				菊地富子		
水道課	渡辺 等		業施設	佐久間 靖明 佐藤 軒二	中山ミエ子 佐藤光男	赤坂 斎	
教育委員会事務局	教育次長 大浪 敏男	木本 元治	学校教育	吉田 輝雄 安藤 信男 古宮 睦男	佐藤幸子 引地 真	菊地軽子	
公民館	館長 春日 一憲	高橋 正夫 小池 芳男	事業	高橋 正夫 小池 芳男	八巻美枝子	佐久間茂 松野雪子	

校(園)名	校(園)長	教 頭	
小坂小学校	渡部 正俊	渡辺 博志	
藤田小学校	畠 腹 順一	佐藤 洋一	高子 宏子
森江野小学校	伊勢 文朗	松浦 恭夫	
大木戸小学校	久米 光勇	緑川 透	
大枝小学校	大槻 太	川崎 勝広	
県北中学校	齋藤 一哉	菅野 武	佐竹 朝子 和泉喜久夫
藤田幼稚園	畠 腹 順一	佐藤 洋一	田中 陽子 紺野かず子 阿部 正子
森江野幼稚園	伊勢 文朗	松浦 恭夫	齋藤アイ子 古内 君恵

戸籍の窓口

(3月受付分)

出生おめでとうございます

子	の	名	保護者	町内会
友紀子	(ゆきこ)	古内	満喜	町 東
駿	(しゅん)	伊藤	一紀	第 三

結婚おめでとうございます

氏	名	町内会	北	市	二	市	町	東	市	田
高橋	裕恵	山崎	島	福	第	福	梁	錦	石	内
後吉	喜和	山崎	島	福	第	福	梁	錦	石	内
友田	喜和	山崎	島	福	第	福	梁	錦	石	内
原	一晃	山崎	島	福	第	福	梁	錦	石	内
富	由紀	山崎	島	福	第	福	梁	錦	石	内
藤	美健	山崎	島	福	第	福	梁	錦	石	内
嶋	美紀	山崎	島	福	第	福	梁	錦	石	内
八	繁	山崎	島	福	第	福	梁	錦	石	内
遠	繁	山崎	島	福	第	福	梁	錦	石	内
阿	雄	山崎	島	福	第	福	梁	錦	石	内

ルバンコアルバ・マリアジナリン

おくり上げます

氏	名	年齢	町内会
斎藤	一ツ	56	田二
佐久間	エハ	94	東二
武田	ハキ	74	南二
西	子	85	北
藤	コ	66	江
小	シ	88	大
佐	ハ		徳
			小



みんなの力で 豊かな森林を 育てましょう

長かった冬も終わり、若葉が芽吹く季節になりました。茶色一色であった景色が、少しずつ緑色に変わっていきます。生命の息吹を改めて感じさせてくれる季節です。

この「桜前線」ならぬ「緑前線」の北上に合わせて、現在、

緑の羽根募金運動

街頭をはじめ、さまざまな所で緑の羽根募金が行われています。もう募金に寄せましたか？ 緑の羽根募金に寄せられた皆さんの募金(浄財)といえます。集められたそれぞれの地域の緑化活動に使われます。ちょっと周囲に目をやってみてください。校庭の緑、公園の緑、道路沿いに植えられた木々の緑……。わたしたちの心を和ませてくれるこれらの緑の多くは、緑の羽根募金によって集められたものです。

浄財は、このような植樹をはじめとする国土緑化に使われるだけではありません。緑を大切にしよという「緑化意識」を皆さんにもっともらうための普及・啓発事業などにも使われています。

その一つに、緑の少年団員の

育成があります。街頭で募金を呼びかけている子どもたちの多くは、この緑の少年団のメンバーです。緑の少年団は、子どもたちの自主的な団体です。その活動目的は、緑とのふれあいを通して、緑を愛し、守り、育てる心を養うことにあります。

森林を守り育て、これからの世代に残していくのは、わたしたちの務めです。二十一世紀の森林づくりのために、わたしたち一人一人が森林を自分のものとして考え、それぞれの立場で、可能な方法で、森林づくりに参加していくことが求められています。

あなたの気持ちを、この緑の羽根募金に託してください。そして、みんなの力で豊かな森林を育てましょう。

人口と世帯

4月1日現在(前月比)3月中のうごき

男	5,758人 (+10)	転入	80人
女	6,171人 (+8)	転出	58人
計	11,929人 (+18)	出生	2人
世帯数	2,996戸 (+1)	死亡	6人

- 募集**
- 自衛官(女子)**
- 自衛隊では、平成4年度第一次自衛官(2等陸・海・空士)採用試験(女子)を次のとおり実施します。
- ◆募集期限 平成4年5月31日まで
 - ◆試験期日 平成4年6月7日(日)
 - ◆試験会場 郡山市大槻町長右門林1 陸上自衛隊郡山駐屯地
 - ◆試験種目
 - ・筆記試験・口述試験・身体検査
 - ・申し込み・問い合わせ 福島市須川町5の5 自衛隊福島募集案内所 ☎015529

とよみ

4月 卯月(うづき)	5月 皐月(さつき)
18日(土) 発明の日	1日(金) 憲法週間
20日(月) 切手趣味週間	3日(日) 憲法記念日
穀雨	5日(火) こどもの日
23日(木) みどりの週間	立夏
29日(木) みどりの日	8日(金) 世界赤十字デー
	10日(日) 愛鳥週間

心配ごと相談日

場所: 役場二階相談室 (東側入口からお入り下さい) 時間: 9時~12時

こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対を守ります。

[相談員]

4月24日(金)	後藤 一・葉瀬 貞子
5月6日(水)	高橋藤右工門・高野時子
5月15日(金)	高橋 隆雄・高橋 恵子



平成四年度

公民館運営方針と努力事項

公民館は、生涯学習の中心拠点として、時代的な要請を深く認識しながら、町民一人ひとりが生涯を通じて生きがいのある豊かな人生を創造し、主体的な生き方ができるよう平成四年度国見町教育委員会重点施策に基づき、公民館運営方針と努力目標を次のように設定しました。

運営方針

- 一人との出会い、人とのふれあい、人と地域とのふれあい、人と学習やスポーツの結びつきを大切にする。
- 二 職員の英知と情熱を結集して魅力ある公民館活動を推進します。
- 三 常に町民のニーズや個人意見にも耳を傾け、弾力的な運営に努めます。
- 四 学習者の主体的活動を推進します。

主な努力目標

- (1) 生涯学習の推進
- 地域の学習活動を推進しま

国見町公民館
☎85-2676
(有)4156

公民館職員の
人事異動

平成四年四月一日付で公民館職員が次のとおり、異動いたしました。

○お世話になりました。
(一)内は旧任

保健課長補佐兼国保係長

古川比司 (体育係長)

税務課課長

佐藤光男 (事業係)

○よろしくお願ひします。

館長補佐兼体育係長

小池芳男

事業係 佐久間茂 (課長)

スポーツ安全保険に
加入しましょう

この保険は、スポーツおよび社会教育活動に伴う事故の補償を行って、グループの皆さんや指導者の方々が安心して活動できるようにするため設けられたものです。

これからスポーツシーズンに入ります。万一の事故に備えてこの保険に加入し、安心して活動に専念しましょう。
加入は、いつでもできますが早めに申し込まれた方がよいでしょう。なお、詳細については

お問合わせおよび加入申込みは

町公民館へどうぞ。

母と子のミルク
ファイバーライス料理教室

ミルクファイバーライスは、学校給食にも使用され、こどもにはすてにおなじみの米・麦・ミルクで炊いた麦ごはんです。

ミルクのカルシウムと麦の食物繊維が溶け合って、栄養バランスに優れております。一度お試しください。

1. 主 催 国見町公民館、香川栄養学園
2. 日 時 5月17日(日)AM9:30
3. 場 所 国見町公民館
4. 対 象 者 小・中学生とその母親 15組
5. メニュー 主菜は、米・麦をミルクで炊いた麦ごはん。副菜は、旬のたけのこ料理。おやつは焼菓子。
6. 経 費 無 料
7. 申 込 み 5月10日まで(電話可)

ペタンク教室

ペタンクは、フランスで始められた簡単でももしろい新しいスポーツです。特に中・高年の方にお勧めします。

1. 主 催 国見町公民館
2. と ころ 国見町公民館(木) 延4回
AM9:00~11:30 最終日に大会を開きます
3. 対 象 者 初心者、老若男女どなたでも
4. 指 導 者 斎藤 正美様
5. 受 講 料 無 料
6. 申 込 み 5月2日まで(電話可)

家庭バレーボール教室

1. 主 催 国見町公民館
2. と ころ 4月26日(日)PM13:00~
3. 場 所 町民体育館
4. 内 容 理論と実際
5. 指 導 者 北島誠伸先生
6. 対 象 者 町民及び在勤者
7. 受 講 料 無 料
8. 申 込 み 4月20日まで(電話可)

行事予定表

月	日	曜	行	事
4	15	水	・子ども移動図書館運営委員会	
	17	金	・自然ふれあい教室（三春方面）	
	26	日	・家庭バレーボール教室	
	30	木	・あつかし学級開講式	
5	7	木	・ベタンク教室開講 ・子育て教室オリエンテーション	
	8	金	・くみに女性教室開講式 ・成人学級開講式	
	12	火	・あつかし学級グループ活動（書道開講）	
	13	水	・あつかし学級（交通安全教室・奉仕作業）	
	14	木	・ベタンク教室	
備	考			

会員募集

国見MVC（9人制ママさんバレーボール）

いっしょに楽しみながら
シェイプアップしましょう

- ・練習日 毎週日曜日 PM 7:30～9:30
- ・場所 国見勤労者体育センター
- ・問い合わせ 奥山へ ☎85-3079



奇贈図書
ありがとうのこま
〇中国仏教の旅
山崎 十五冊
匿名

平成4年度 教室・学級生募集

生涯学習でうのおいのある人生を送りましょう

区分	趣	旨	内	容	対	象	申	込	み
子育 て 教 室	幼児期の家庭教育の重要性を自覚し、その知識や心構え、技術などを学習する。		◎学習期間 ◎学習内容	平成4年5月～平成5年2月 幼児教育の基本と心構え、絵本・童話の選び方・水遊び・遠足・食べもの健康・おもちゃづくり・育児アラカルト	2～4歳児を もつ母親及び 祖父母 定員各20名		4月24日まで		(電話可)
女 性 教 室	女性としてより豊かに生きるために教養を高め、趣味を広げ、仲間との親睦を深める。		◎学習期間 ◎学習内容	平成4年5月～平成5年2月 現代女性の生き方・健康管理 時事問題・趣味・スポーツ・旅行・グループ活動など	町内に居住す る女性		4月24日まで		(電話可)
成 人 学 級	現代社会に対応できる知識や技能などを学習し、心豊かに生きがいのある生活を送れるようにする。		◎学習期間 ◎学習内容	平成4年5月～平成5年2月 一般教養・郷土史・国際情勢 町政・地域づくり・年金・健康管理・趣味・旅行・グループ活動など	町内に居住す る成人男女		4月24日まで		(電話可)
阿 津 賀 志 学 級	高齢化社会に適応した生き方を自覚し、教養や趣味を高めて、心豊かで充実した生活を送れるようにする。		◎学習期間 ◎学習内容	平成4年4月～平成5年2月 一般教養・健康管理・スポーツ・音楽鑑賞・郷土史・町政 時事問題・異世代との交流・交通安全・旅行・グループ活動など	町内に居住す る60歳以上の 男女		随	時	

※詳しいことは、お気軽に公民館にお問い合わせください。



後継者媒酌人に 感謝状

後継者結婚媒酌人に対する感謝状の贈呈式は三月十九日、町福祉センターで開かれました。

この日感謝状を受けたのは、一般後継者媒酌人として尽力された吉田博さん（森山字熊野前四の五）ら二十三人、また、農業後継者媒酌人として尽力された藤利一さん（藤田字一丁田



▲後継者媒酌人感謝状贈呈式

三、一四の一〇）ら九人で、それぞれ町の花嫁、後継者不足解消に功績のあった皆さんです。町では、豊かで住みよい活力あふれる町づくりの担い手確保として、また、これからの町づくりに若い創意と工夫を生かした町の発展を目指すために「国見町後継者対策協議会」を組織し、媒酌人報償金制度を設け、後継者不足の解消に取り組んでおり、これまでに多くの新しいカップルが誕生しました。

小・中学生が 町議会を傍聴

町内四小学校と東北中の児童・生徒十人の皆さんは三月十一日、三月定例会初日の様子を傍聴しました。



▲熱心に傍聴する小・中学生の皆さん

これは町青少年育成町民会議が、町政や議会の仕組みを知ってもらおうと初めて実施したもので、傍聴した皆さんは富永町長の提案理由説明や一般質問などに熱心に耳を傾けていました。

案内板が設置される

阿津賀志山展望台への入口案内板が、滝川橋から石母田に至る国道四号線沿いに、このほど設置されました。

この案内板は、国見ライオンズクラブ（高橋貴夫会長）から町へ、設置のために寄付をいただいたことにより完成したもので、展望台までの途中の既存案内板の補修も併せて行われました。



▲新設された案内板

とって、とてもわかりやすい案内板になりました。

交通安全運動の 推進を協議

去る三月二十四日、国見町交通対策協議会が開催され、平成四年度の交通安全事業計画並びに春の全国交通安全運動の推進について協議が行われました。

席上、昨年十月、不幸にして交通事故によりお父さんを亡くされた遠藤康幸君（貝田字番城内）に、交通遺児奨学金が富永町長より伝達されました。

交通遺児奨学金は、交通遺児の健やかな成長と勉学の励みとなるよう小・中学校への入学時及び中学校の卒業時に（財）福島県交通遺児奨学金協会より支給されるものです。



▲富永町長から遠藤君に奨励金が手渡される

民生・児童委員に 小西さん

この度、牧野容子さん（大町北）の後任に、小西絹子さん（藤田字南一四）が民生委員・児童委員に委嘱されました。

厚生大臣、県知事からの民生（児童）委員の委嘱状が去る三月十日、民生委員協議会定例会の席上、富永町長より交付されました。

任期は二月四日から十一月三十日まで、大町北町内会を担当いたします。

また、退任されました牧野容子さんには、多年、民生委員協議会の副総務としてご尽力いただき、厚生大臣と町から感謝状と記念品が贈られました。

長い間ご苦労さまでした。

編集日記

○四月六日、小・中学校で入学式が行われ新一年生が誕生。

○全国の交通事故による死者が春の交通安全運動中の四月十二日現在、昨年より十一日も早く三千人を超えてしまいました。二十九年間では最悪のペースとか。みんな注意し合い、痛ましい子どもの交通事故をなくしたいものです。

(K)